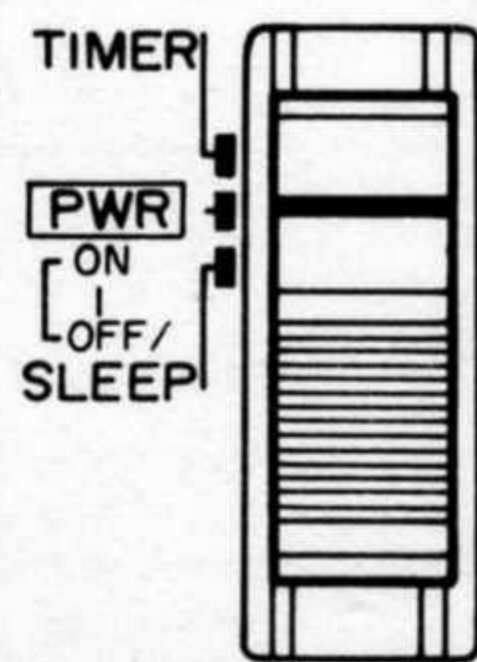


CDを聞く

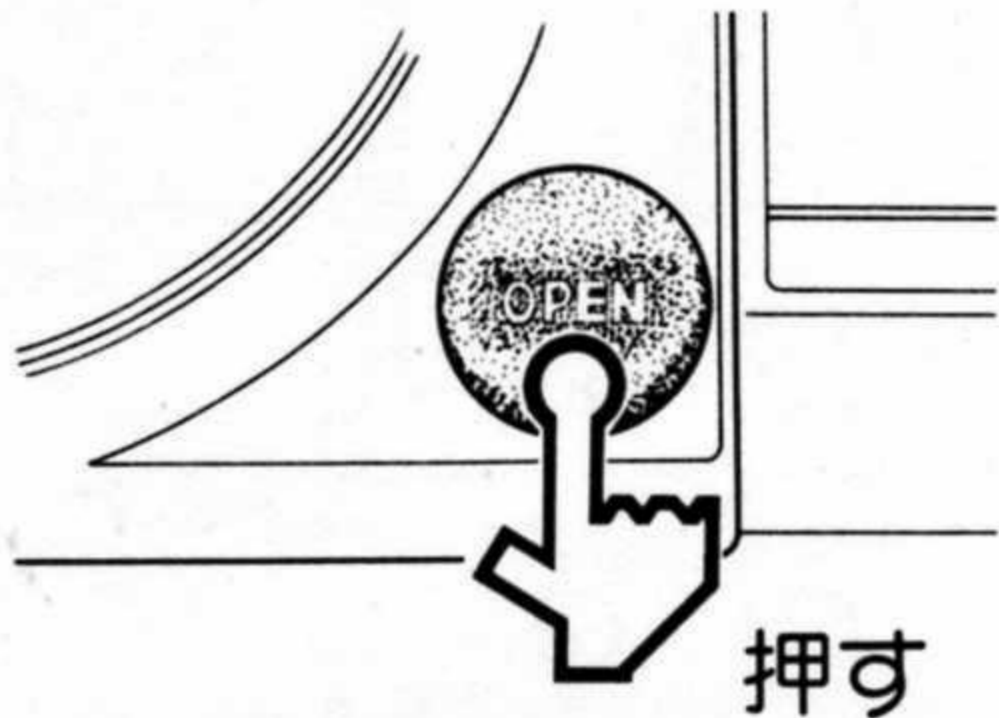
番号順に操作します。

■ 通常演奏・・・総曲数12曲、総演奏時間55分40秒のディスクを使用した場合です。

1 電源を入れる

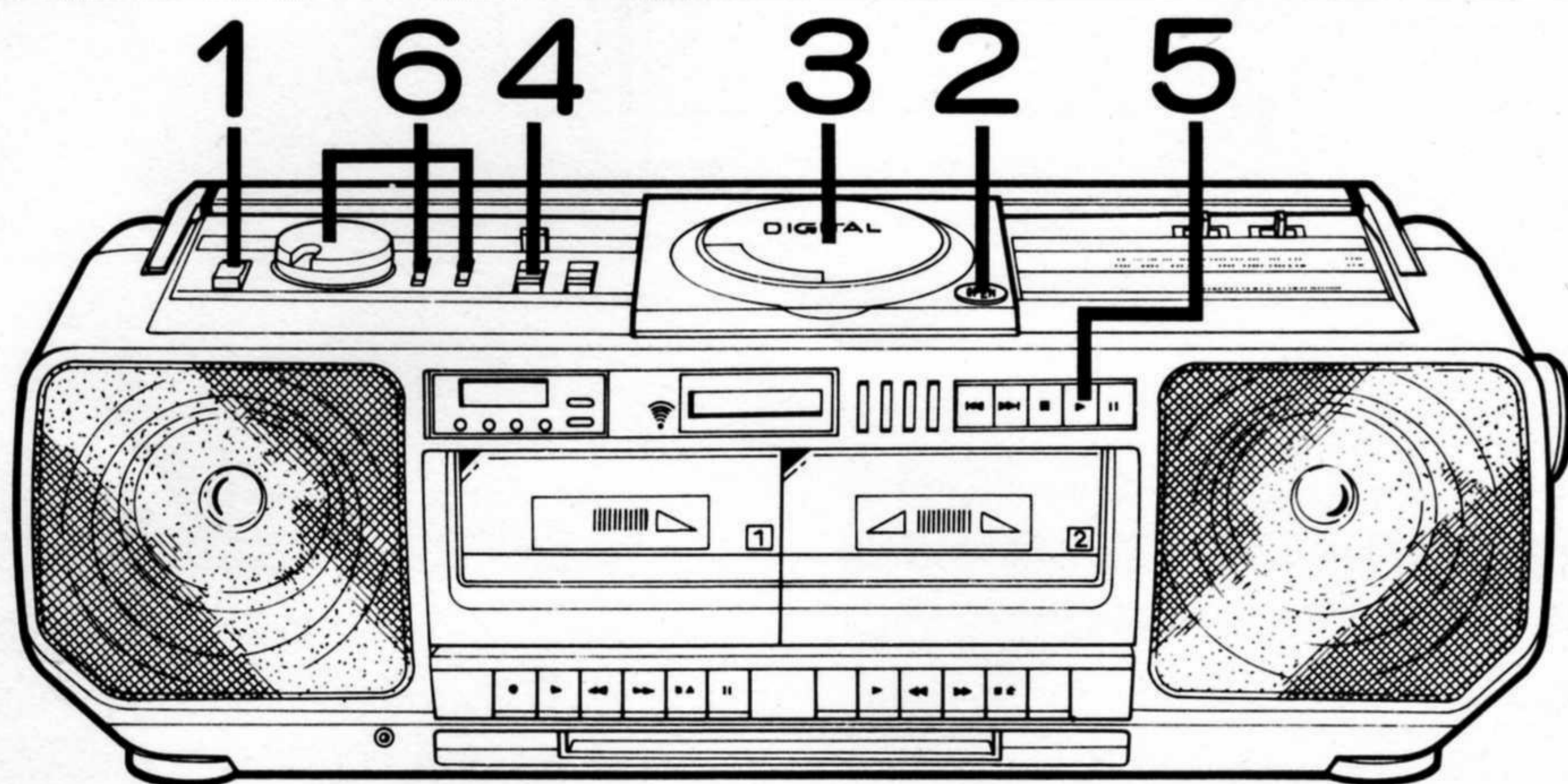
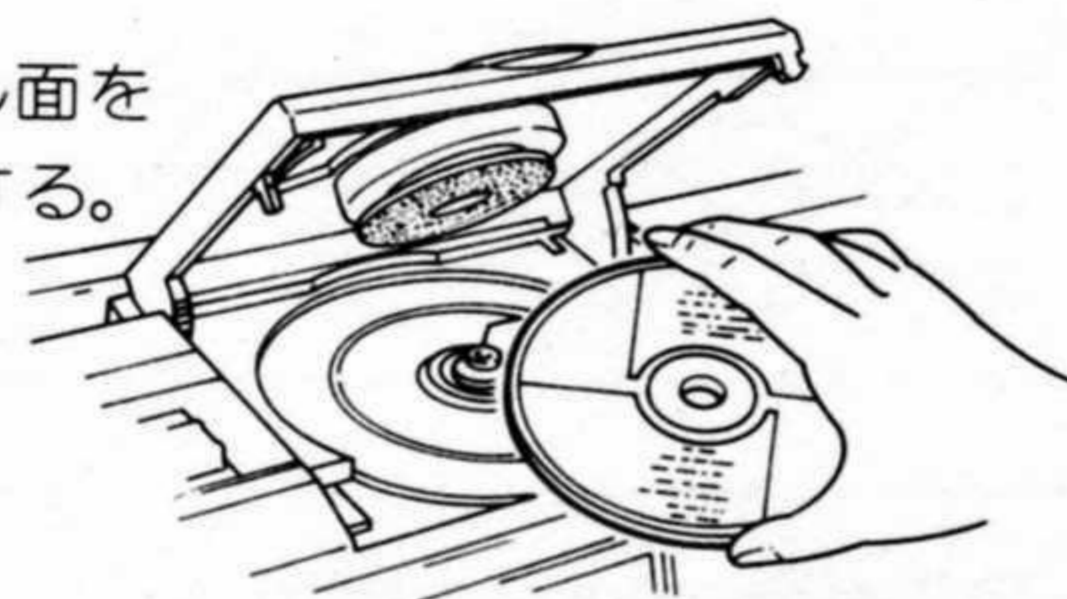


2 カバーをあける



3 ディスクを入れ、カバーをしめる

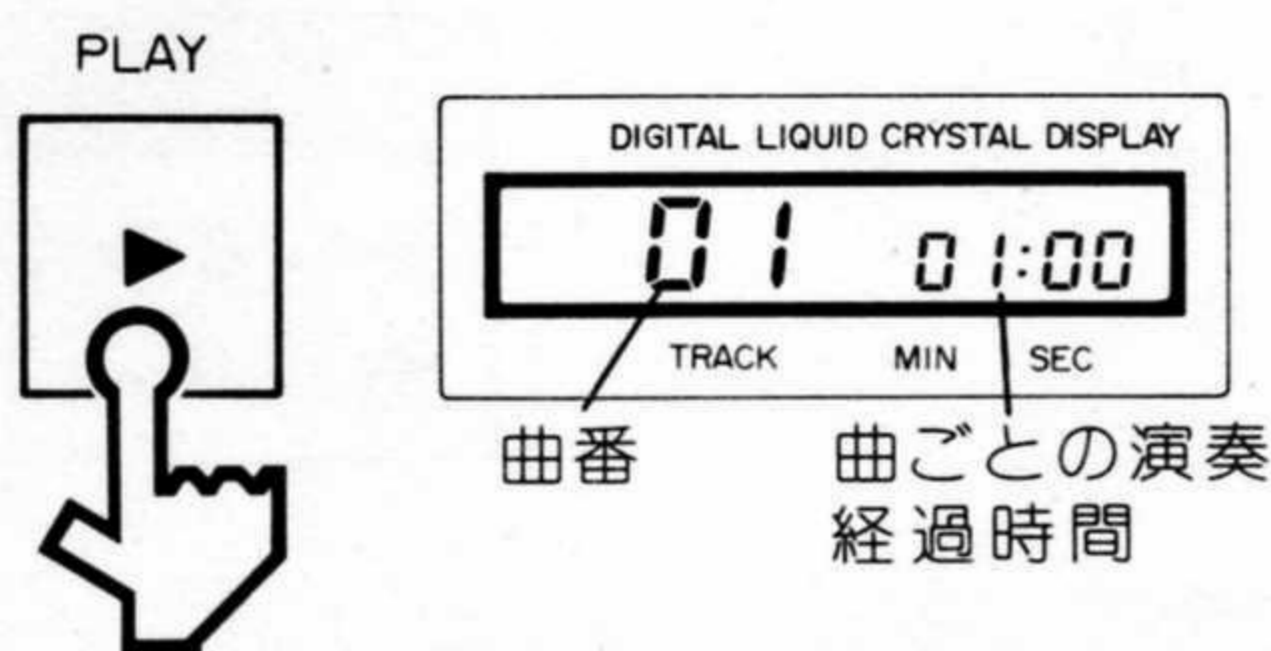
ラベル面を上にする。



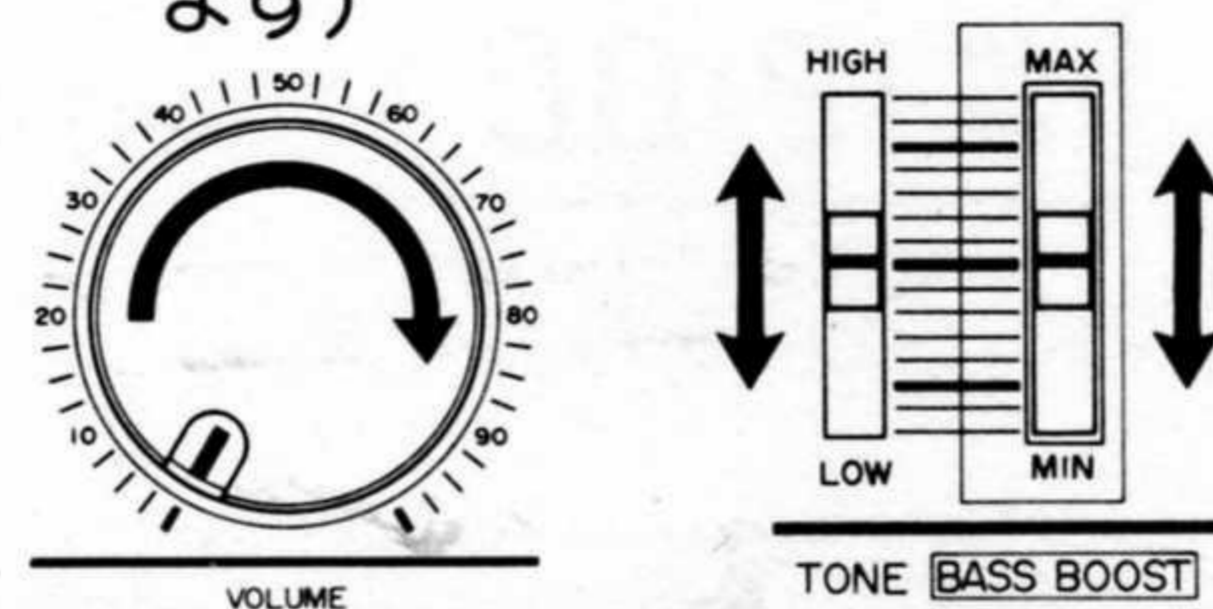
4 「CD」にする



5 押す→演奏スタート



6 音量・音質を調節する (音量はリモコンでも調節できます)



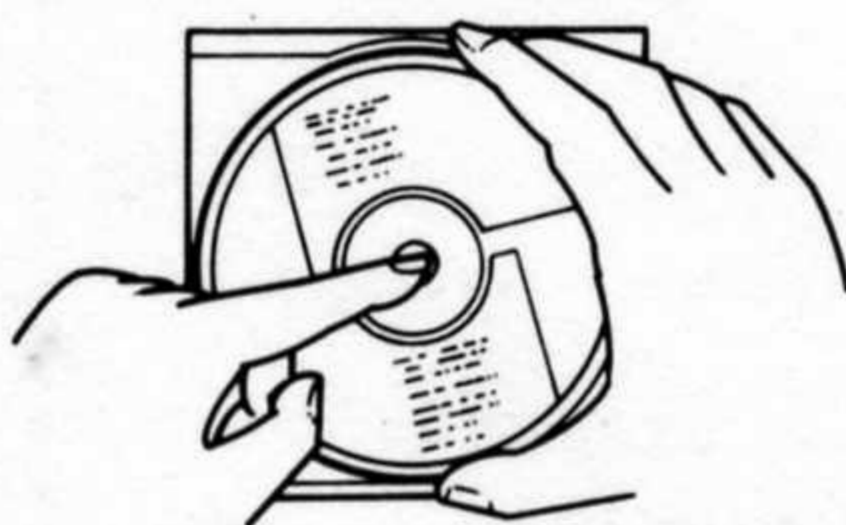
■ コンパクトディスクは

コンパクトディスク (CD) は右図のマークが入ったものをご使用ください。



■ 取扱い上のご注意

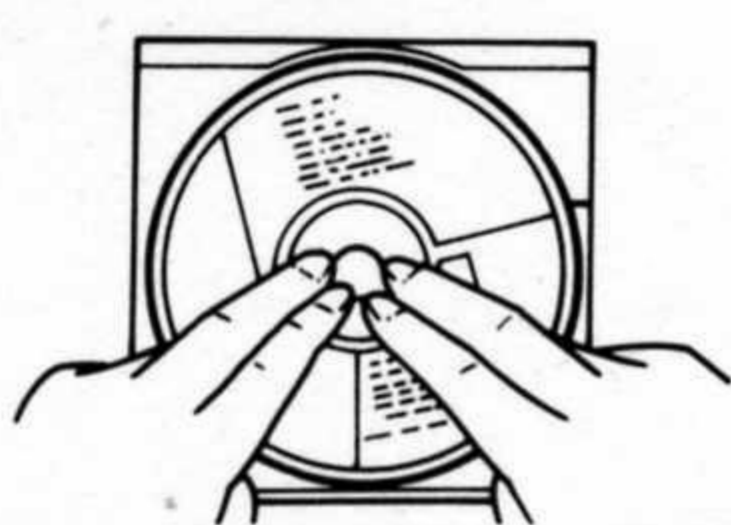
- ケースからの出し入れ
センターホルダーを押さえ



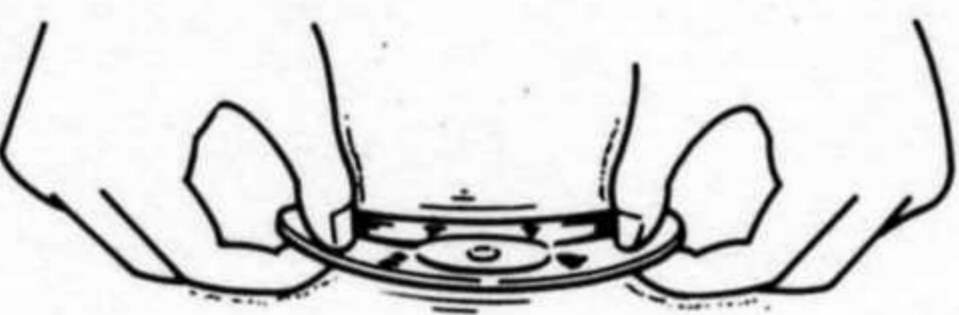
演奏面に触れないように持って出す。

- 演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持つ。
- ラベル面に紙を貼ったり字を書いたりしない。
- ディスクは曲げないでください。

ラベル面を上にして・・・



上から押さえて入れる。



■ 保管するとき

- 必ず専用ケースに入れて保管してください。
- 直射日光の当る所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。

■ ディスクのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

ディスクは必ず矢印方向にふいてください。



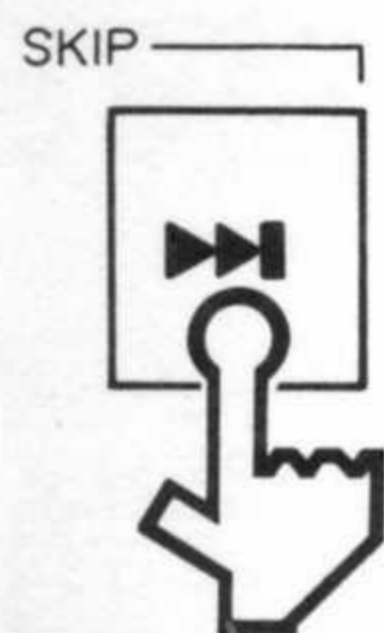
必ず内側から外側へ

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。

聞きたい曲を聞く (CDを聞く)

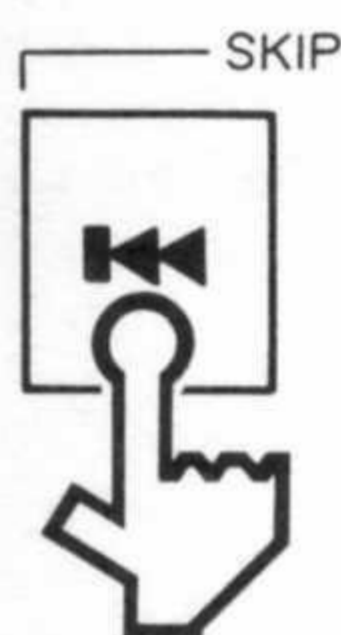
■ スキップ演奏

● 演奏中に次の曲を聞くには…



- 「ポン」と1回押しごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

● 演奏中の前の曲を聞くには…



- 「ポン」と1回押しと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押しと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

■ 演奏を停止するには

● 途中で停止するには



押す

● 一時停止するには



押す

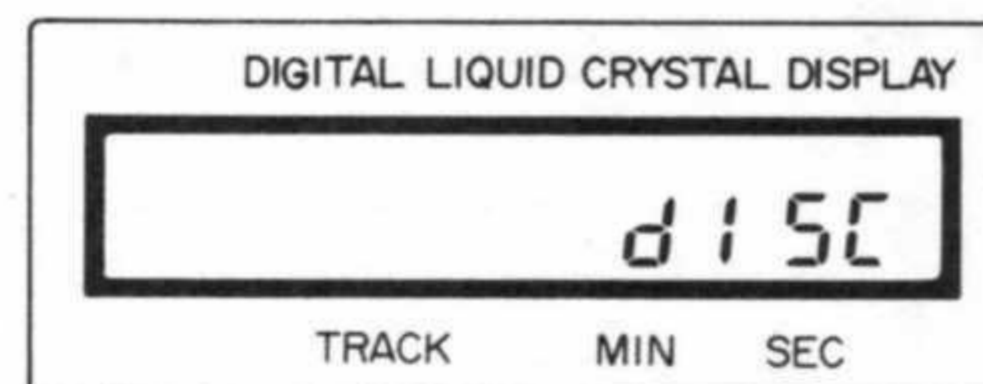
一時停止を解除し演奏を再開するにはプレイボタン(▶)を押します。

ご 注 意

ディスクを交換するときは、必ずSTOPボタン(■)を押してディスクの回転が完全に止まってから取り出してください。

お 願 い

- ディスクにゴミやキズが付いていたり、裏表を逆に入れたときは、図のように表示されることがあります。



このようなときはディスクの裏表を確かめて入れ直すが、清掃したり交換してみてください。

- コンパクトディスクを演奏するときは、温度があまり高くない所(なるべく5°C~35°Cの範囲)でお使いください。
- 演奏が終わったらディスクを取出し、CDプレーヤーカバーをしめておいてください。
- ディスクの内容によっては音とびを起こすことがあります。このようなときは、音量を下げてお聞きください。
- 本機に強い衝撃を与えたり、振動の多い所(自動車のなかなど)で使用すると、音とびを起こすことがあります。

8cmCDシングルについて

- 本機は8cmCDシングルがそのままお使いになれます。
- 使用状態やディスクによって音とびが起きるときは、CDシングル専用アダプターをお使いください。

● POWER/TIMERスイッチがどの位置でも電源が切れない場合は…

SLEEP ONの状態です。POWER/TIMERスイッチをOFFにして、SLEEP OFFボタンを押してください。

● SLEEP ONボタンが押されていると…

ディスクをセットするとすぐに1曲目の演奏が始まり、総曲数・総時間が表示されません。POWER/TIMERをOFFにしてSLEEP OFFボタンを押し、再度POWER/TIMERスイッチをONしてください。

好きな曲を好きな順に聞く (CDを聞く)

番号順に操作します。

■ プログラム演奏

- 最大20曲までプログラムできます。

1 プログラム演奏のモードにする

押す

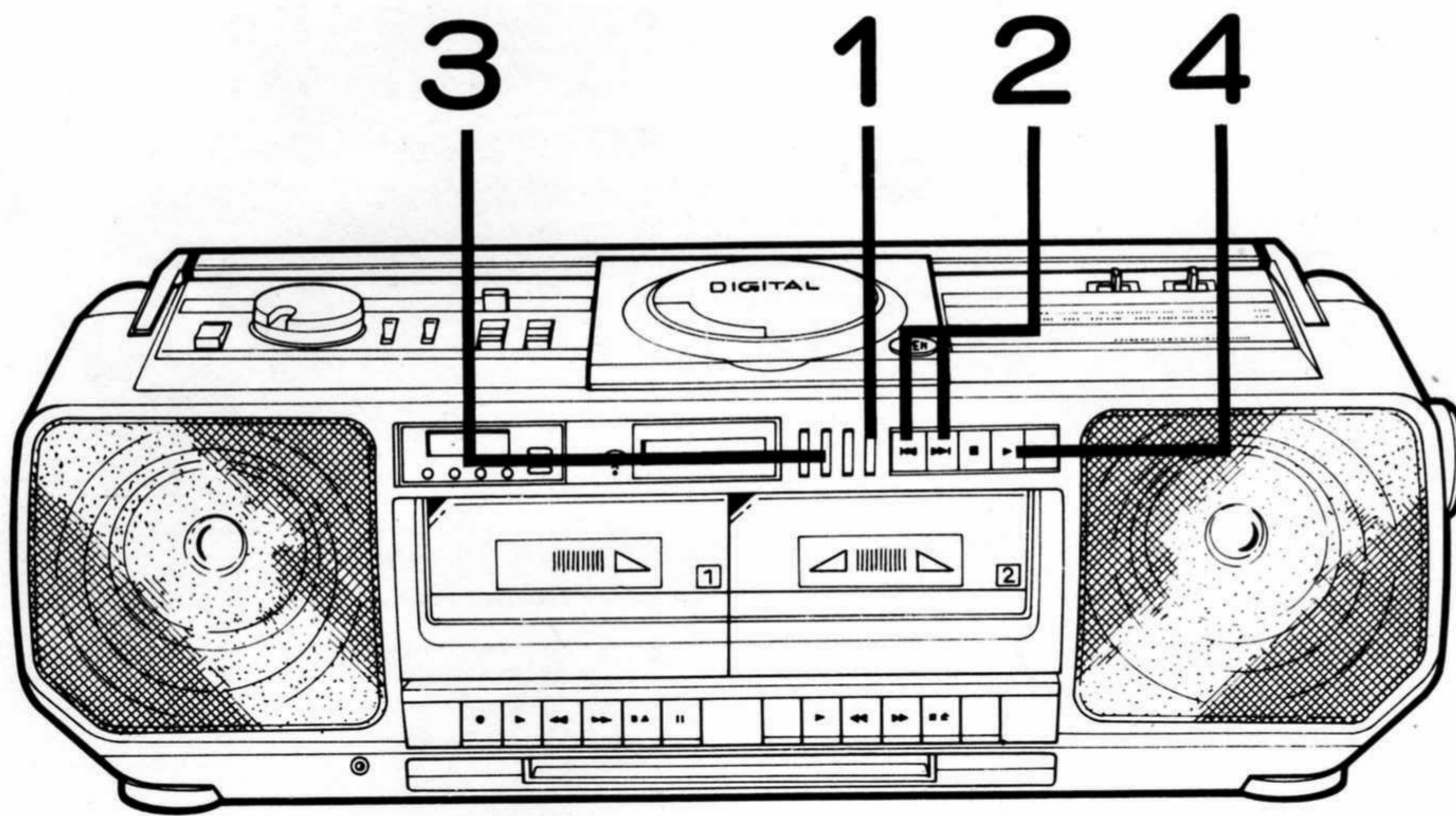
2 聞きたい曲番号を選ぶ

曲番号を戻すときは **SKIP** ボタンを押します。

押す 5曲目のとき

3 予約(プログラム)する

押す



2と3を繰り返して予約する

4 予約が終わったら押す → プログラム演奏スタート

- プログラム内容の確認 (ストップ状態で) ENTER ボタンを押すとプログラム順に表示されます。

- プログラムを取消すには… ストップ状態でCLEARボタンを押します。

下さい。次にPROGボタンを押し、通常演奏状態に戻します。

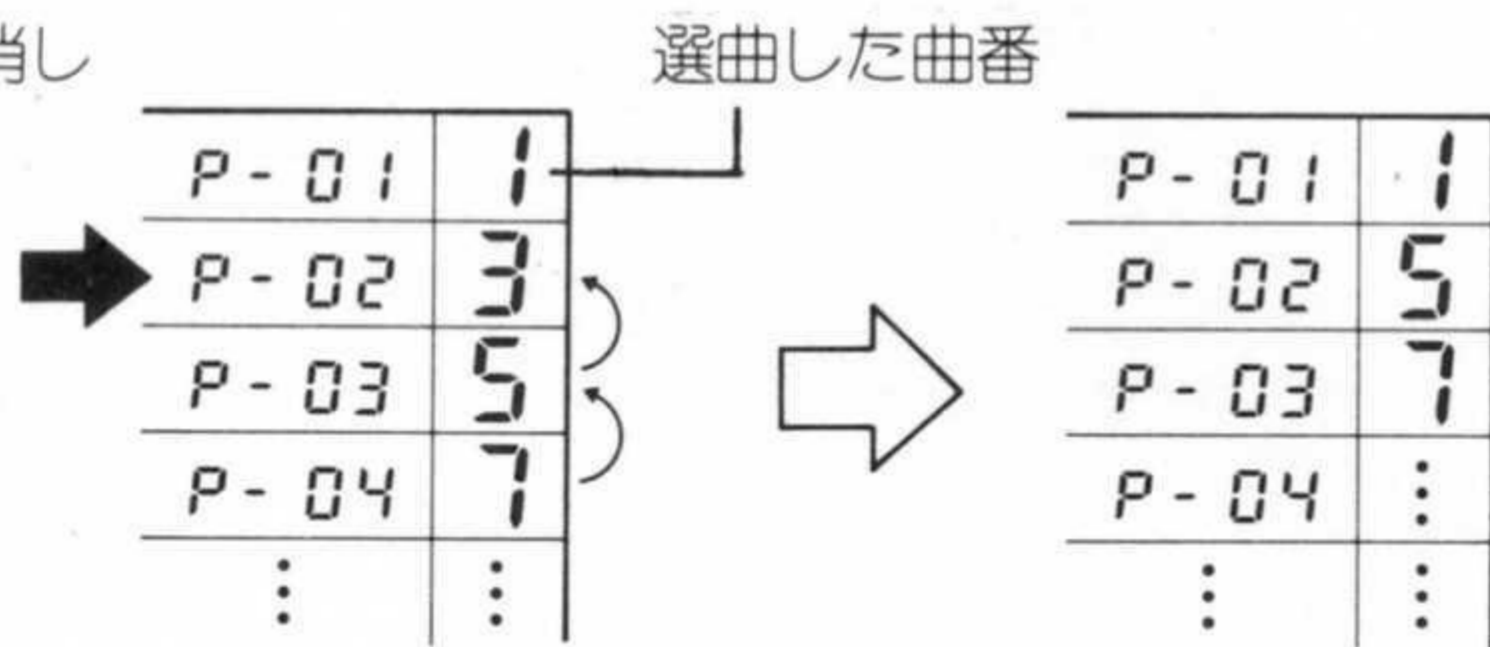
- プログラムを一時的に解除するには… PROGボタンを押す(停止中でも演奏中でも)とプログラムは解除され通常演奏に戻ります。もう一度押すとプログラムされた最初の曲から演奏が始まります。

くり返し曲を聞く (CDを聞く)

- 20曲分プログラムされると、表示は…
P-:01にもどります。そのままプログラムを続けると、初めの内容が消えて、新しい曲がプログラムされます。
- プログラムを変更するには…
ENTERボタンで、変更したい曲を表示する。2と3のステップで曲を変更する。
- プログラムに曲を追加するには…
ENTERボタンで、あいているプログラム番号を表示する。2と3のステップで曲を追加する。
- プログラムの途中の曲を抜くには…
ENTERボタンで取り消したい曲を表示、CLEARボタンを押して取り消す。途中の曲を取り消すと、それ以降の曲の順位が繰り上がって記憶されます。

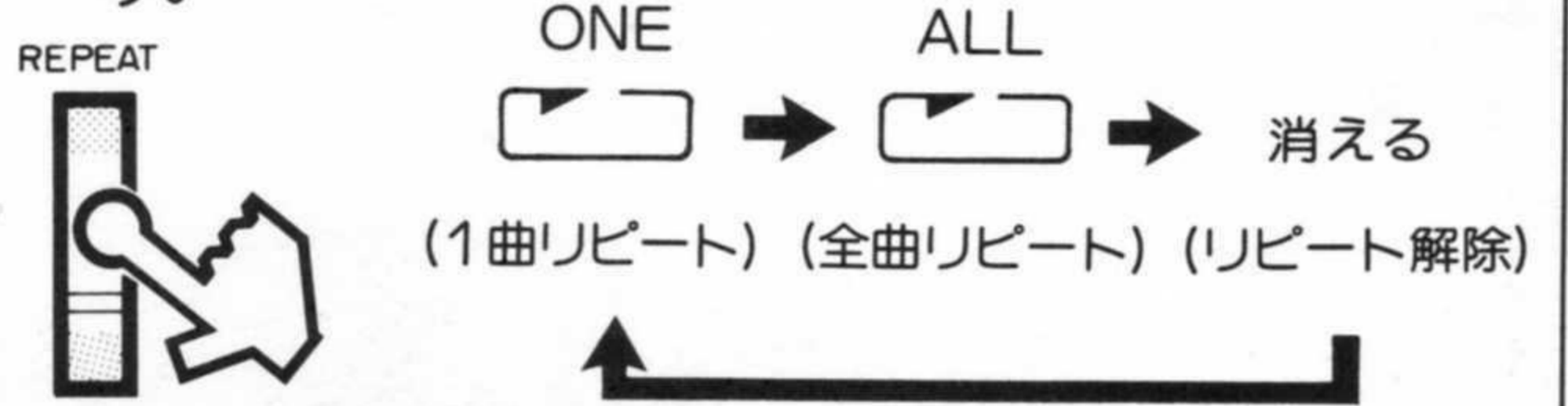
(例)

2番目を消したとき



■ リピート演奏

- 押すごとに次のモードを表示窓に表示します。



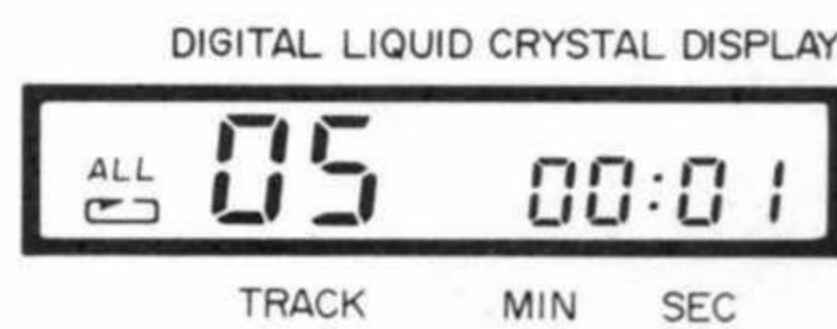
通常演奏時

● 1曲リピート



- 表示されている曲をくり返して聞くことができます。

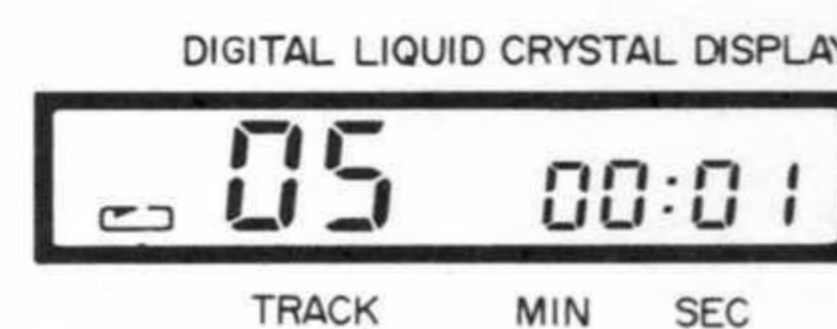
● 全曲リピート



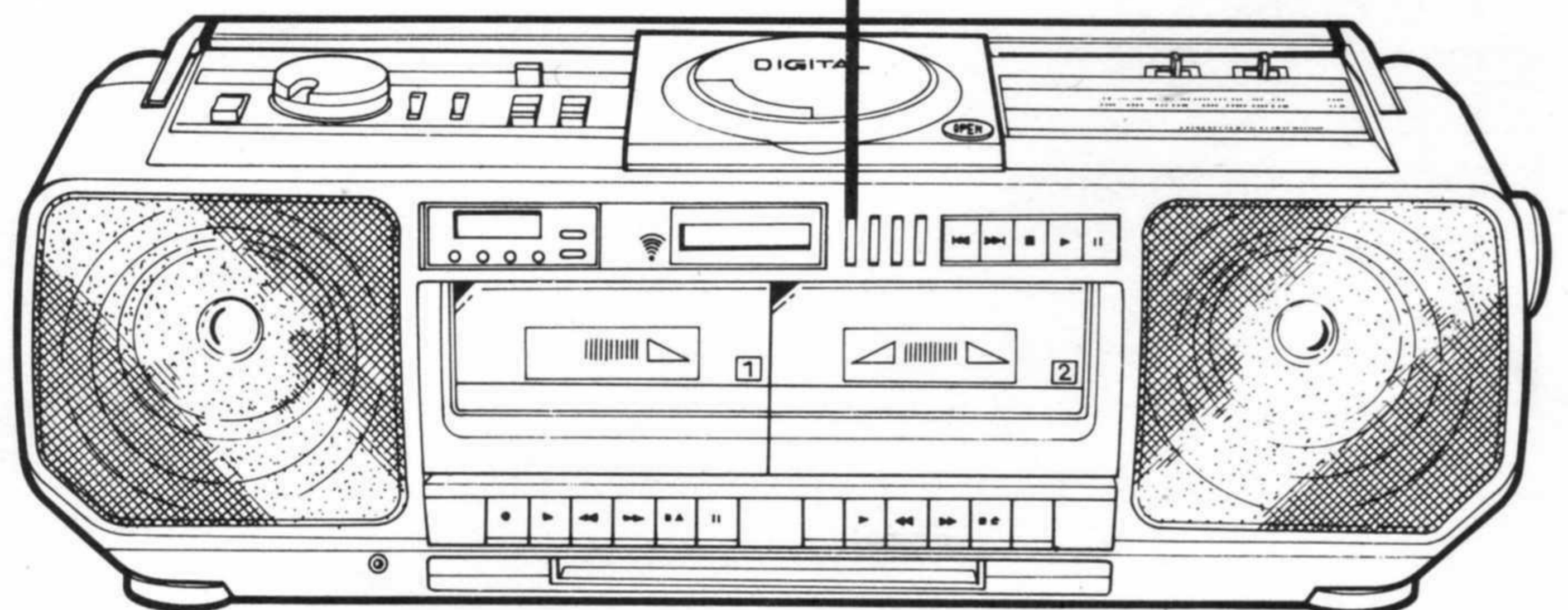
- 全曲をくり返して聞くことができます。

プログラム演奏時

● 全曲リピート



- プログラムした全曲をくり返して聞くことができます。
- プログラム演奏時は1曲リピートはできません。



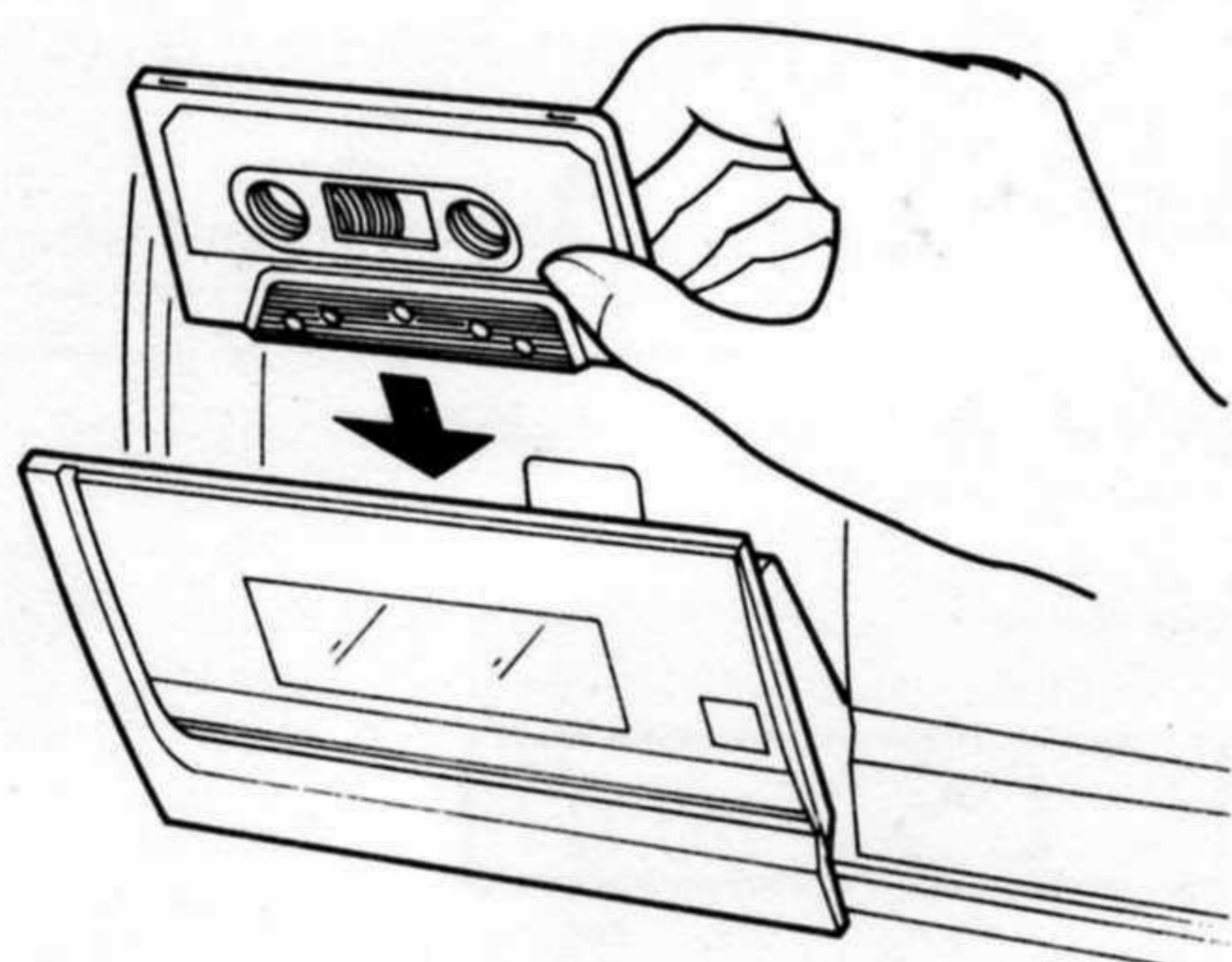
カセットテープについて

■ カセットテープの入れかた

- ① STOP/EJECTボタン(■▲)を押してカセットホルダーを開けます。
- ② 図のようにテープ面を下に、録音・再生したい面を手前にしてカセットを入れます。

録音・再生したい面を手前に

テープ面を下に



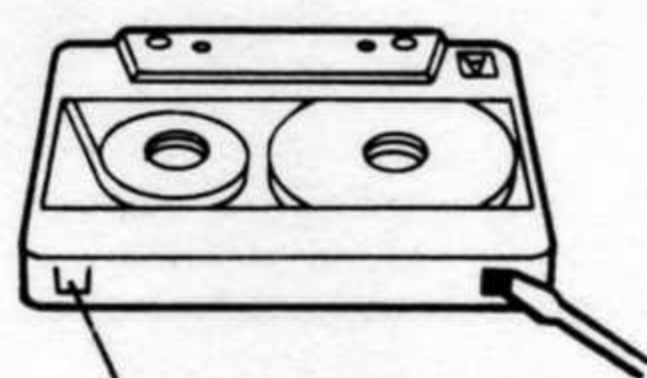
- ③ カセットホルダーを押して閉めます。

■ 大切な録音を消さないために

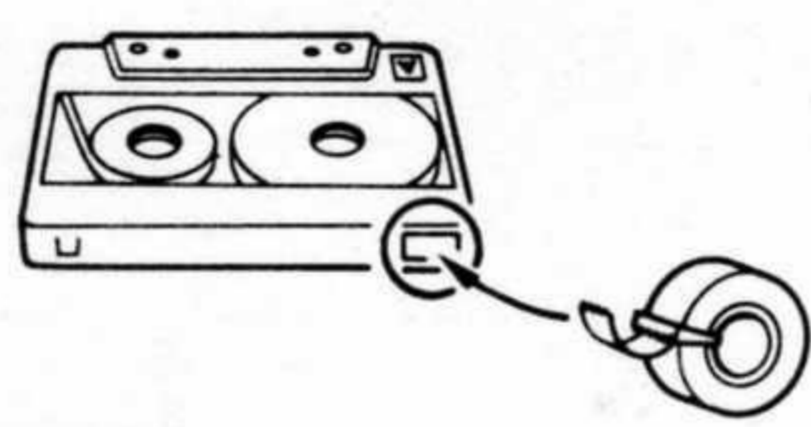
カセットテープには誤消去防止装置(ツメ)がついています。

録音したあとカセットテープのツメを折っておきますと録音状態にすることができなくなりますので、貴重な録音を誤って消してしまうことがなくなります。

- ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなります。
- 再び録音したいときはツメの穴を接着テープなどでふさぎます。



B面用ツメ

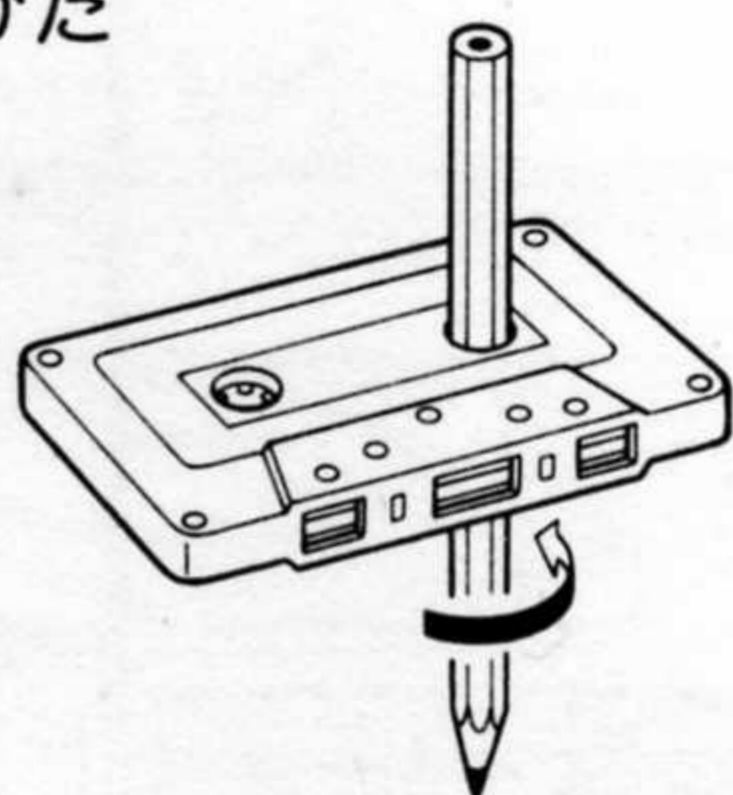


A面用ツメ

接着テープ

■ カセットテープの取扱いかた

- テープにたるみがあると、巻き込んだり、巻き乱れの原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。
- テープの巻き取りにむらがある場合は、一度再生状態にして一様に巻き取ってください。
- テープを引きだしたり、テープ面にふれないでください。



矢印方向に鉛筆を回す。

C-120タイプのテープは薄いため、巻き込んだりしやすいので、できるだけ使用しないようにしてください。

■ 本機でお使いになれるカセットテープ

デッキ テープの種類	デッキ1		デッキ2
	録音	再生	再生
ノーマルテープ (TYPE I)	○	○	○
メタルテープ (TYPE M)	×	×	○

ご 注 意

- 再生の場合、テープの種類とTAPESWITCHの位置が異なりますと音質が変わりますのでご注意ください。
- ノーマルテープを再生するときはTAPESWITCHを“NORMAL”にしてお使いください。
- メタルテープとクローム(CrO₂)テープはデッキ2“METAL”位置でお使いになれます。
- フェリクロームテープは特性が合いませのでおすすりできません。

■ カセットテープの保管

カセットテープはケースなどに納め、次のような場所をさけて保管してください。



湿気やホコリの多い所 直射日光の当たる所 暖房器のそば

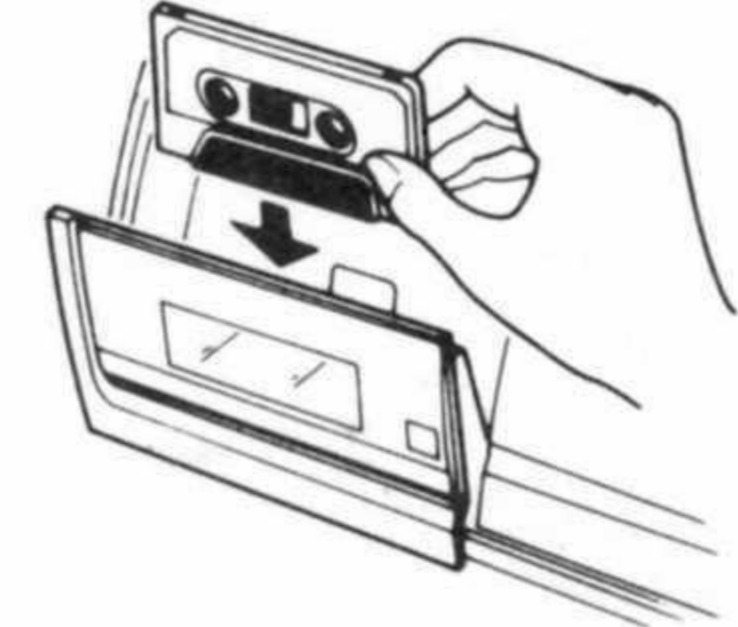
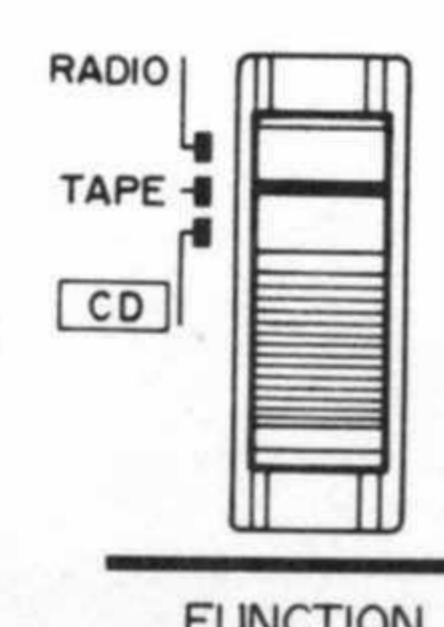


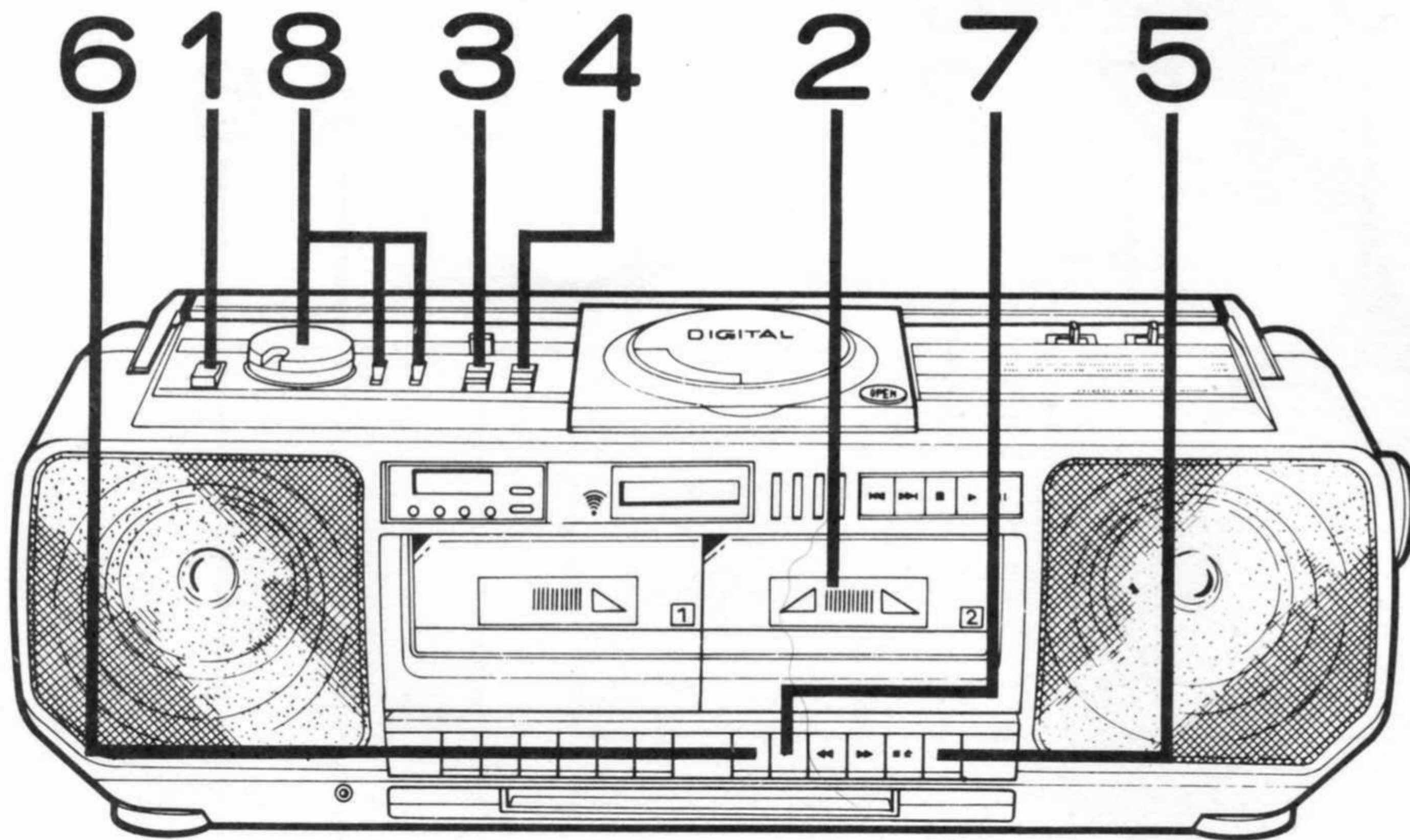
テレビやスピーカーの上など磁気の影響を受けやすい所

テープを聞く

番号順に操作します。

■ デッキ2で聞くには

<p>1 電源を入れる</p> 	<p>2 カセットを入れる</p> 	<p>3 「TAPE」にする</p> 	<p>4 テープの種類に合わせる</p> 
--	--	---	---



<p>5 テープの走行方向を選ぶ</p> 	<p>6 リピートモードを選ぶ</p> 	<p>7 押し込む→再生スタート</p> 	<p>8 音量・音質を調節する</p> 
---	---	---	--

■ デッキ1で聞くには

デッキ1にカセット(ノーマルテープ)を入れ、上記3、7、8の操作をデッキ1で行います。

(上記4、5、6の操作は行う必要がありません。)

- デッキ1、2を同時に再生状態にすると、デッキ2の音が優先して出ます。

■ PAUSE ボタン(■)の使い方

テープ再生中や録音のとき、一時的にテープの走行を止めたいときにこのボタンを使います。

もう一度押すと再び再生や録音が始まります。

長時間止めるときはSTOP/EJECTボタン(■▲)をお使いください。

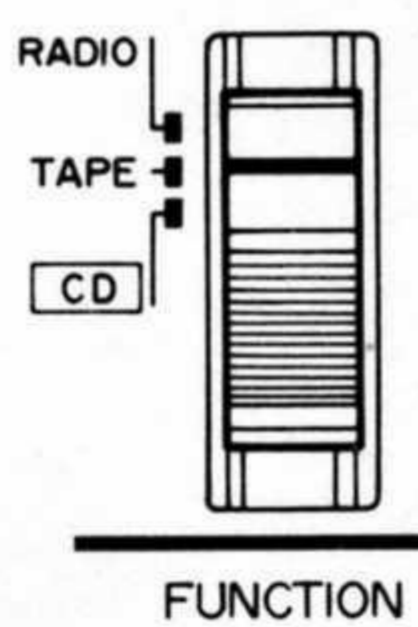
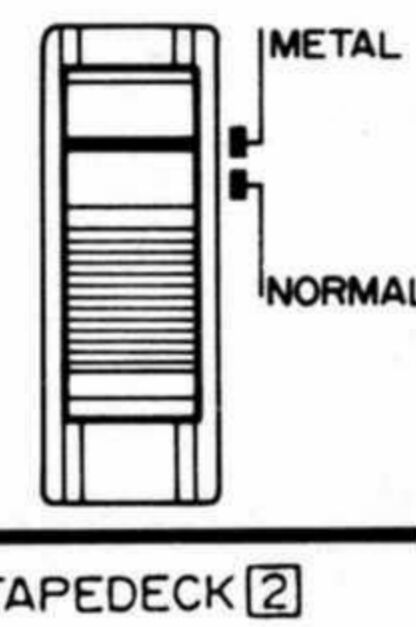

ご 注 意

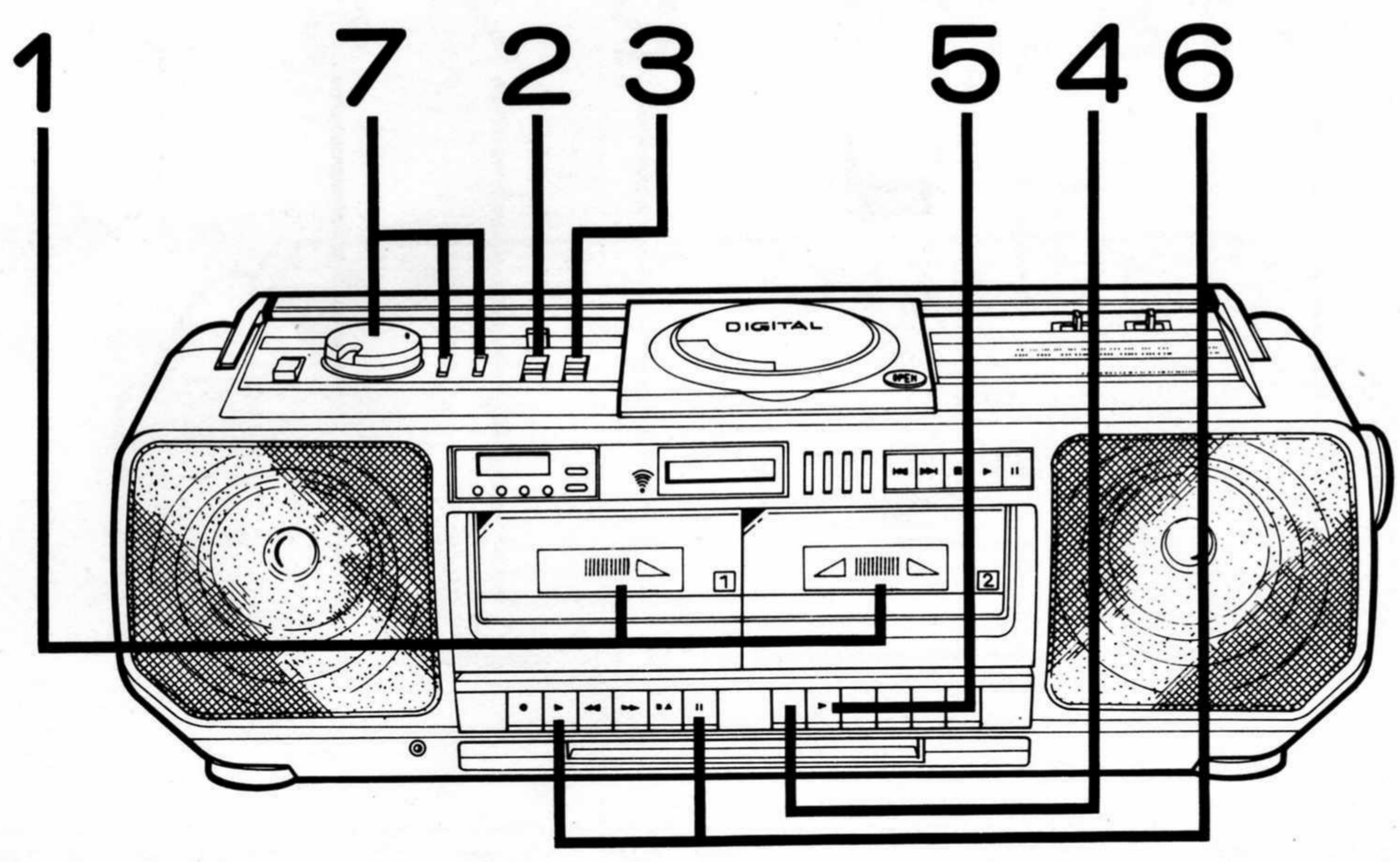
テープ走行中に電源スイッチをOFFにしてもテープは走行しつづけテープ巻終わりまで電源は切れません。(デッキ2ではリピートモードがくり返し(■)の状態では電源は切れません。)


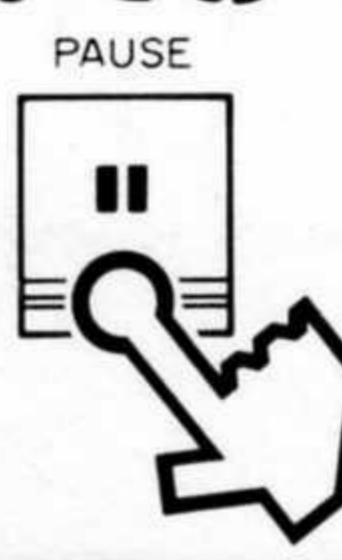

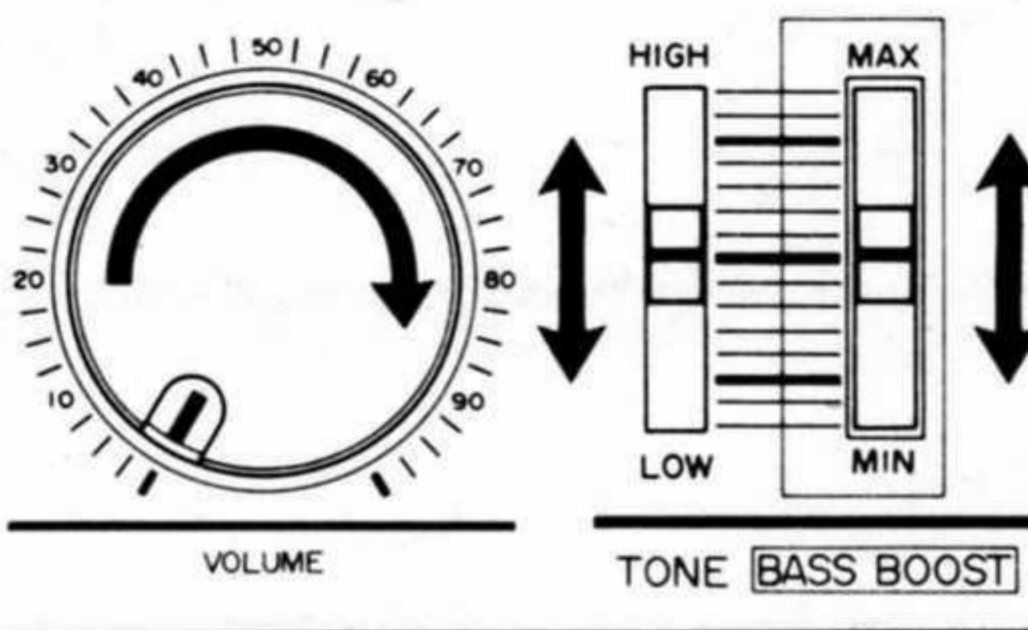
あらかじめSTOP/EJECTボタン(■▲)を押してテープ走行を止めてから電源を切ってください。

2本のテープを続けて聞く(テープを聞く) 番号順に操作します。

■ 連続再生 (デッキ2→デッキ1)

<p>1 デッキ1・2に聞きたいテープを入れる</p> <p>●デッキ1にはノーマルテープを使用して下さい。</p>	<p>2 「TAPE」にする</p>  <p>FUNCTION</p>	<p>3 テープの種類に合わせる</p>  <p>TAPEDECK ②</p> <p>デッキ2のテープに合わせる</p>	<p>4 リピートモードボタンを押し込む</p> 
---	---	--	---



<p>5 デッキ2を再生する</p>  <p>押し込む</p>	<p>6 デッキ1のPAUSE(⏏)とPLAY(▶)ボタンを押し込んでおく</p>  	<p>7 適度な音量・音質を調節する</p>  <p>VOLUME</p> <p>TONE BASS BOOST</p>
---	---	--

- デッキ2 が自動停止 (オートストップ)すると自動的にデッキ1 の再生がスタートします。
- デッキ1 が自動停止すると連続再生は終わります。

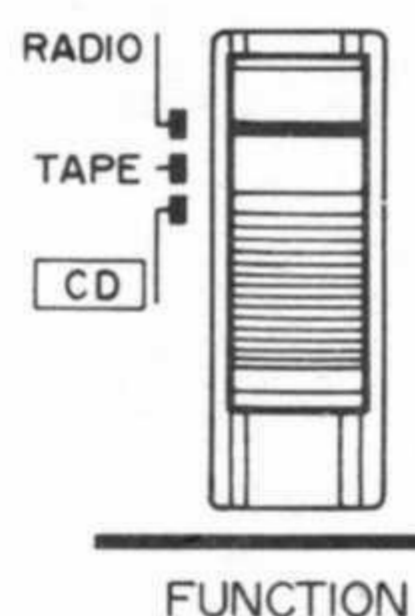
ご 注 意

デッキ2のREPEAT MODEがくり返し(⏮)モードでは連続再生ができません。かならずREPEAT MODEを一往復(↔)モードにしてください。

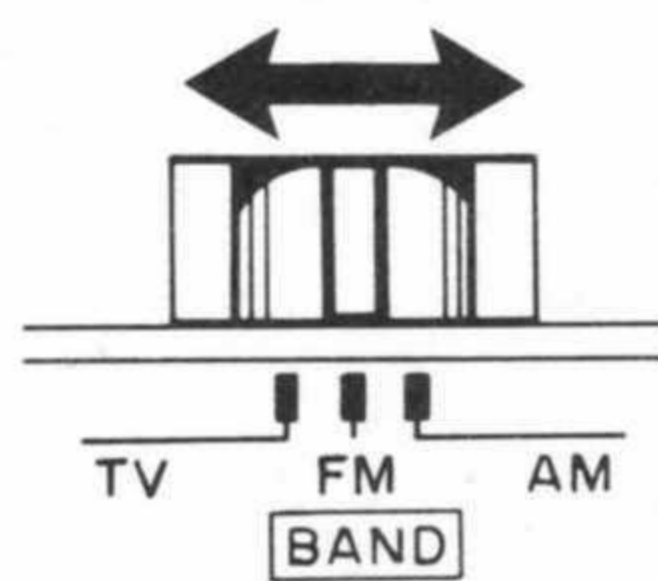
1 電源を入れる



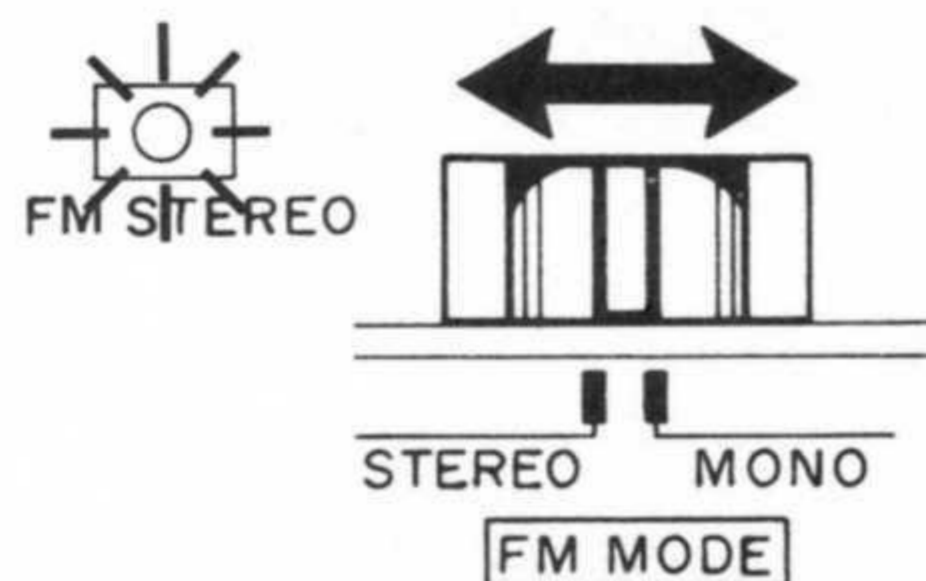
2 「RADIO」にする



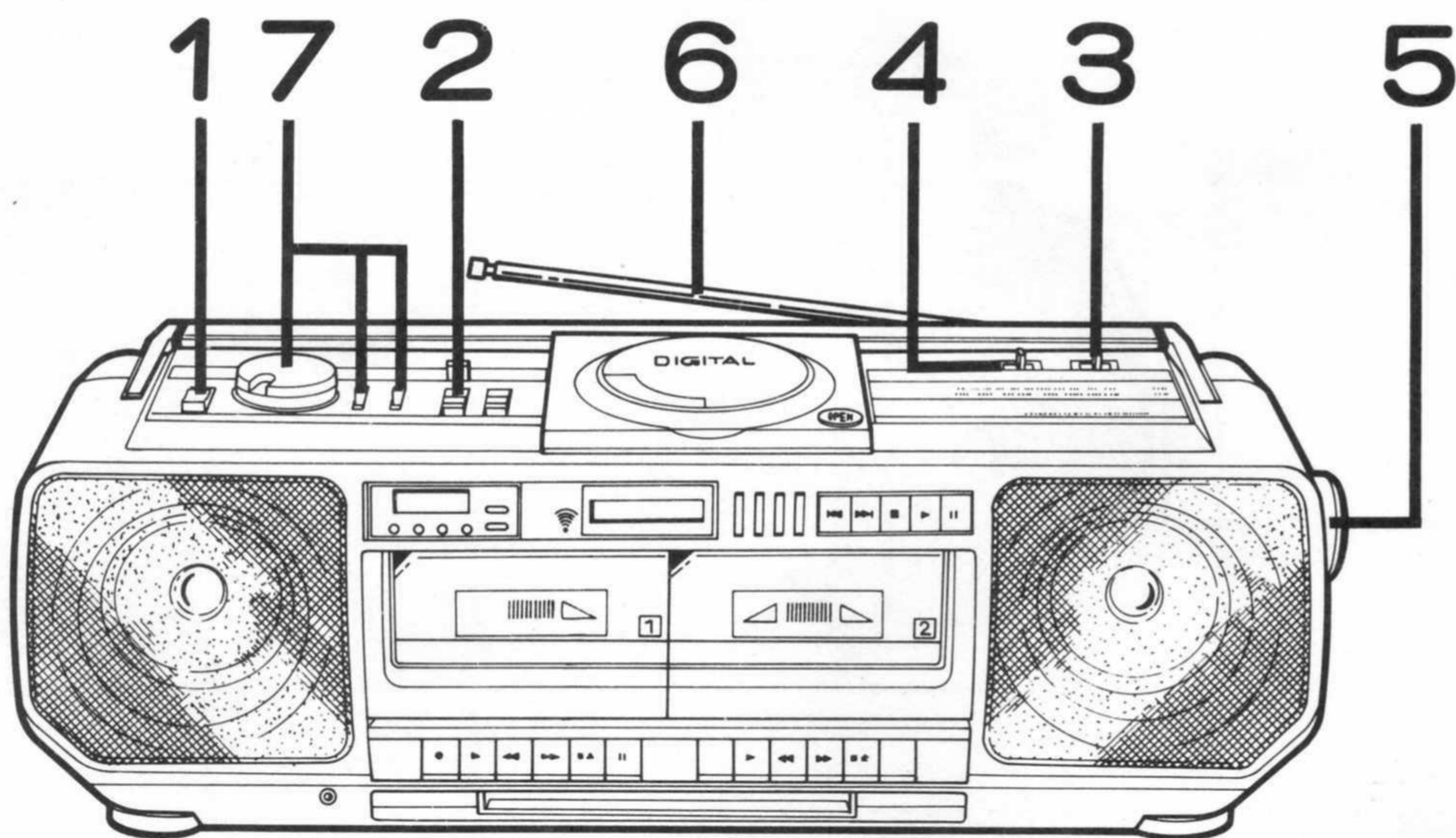
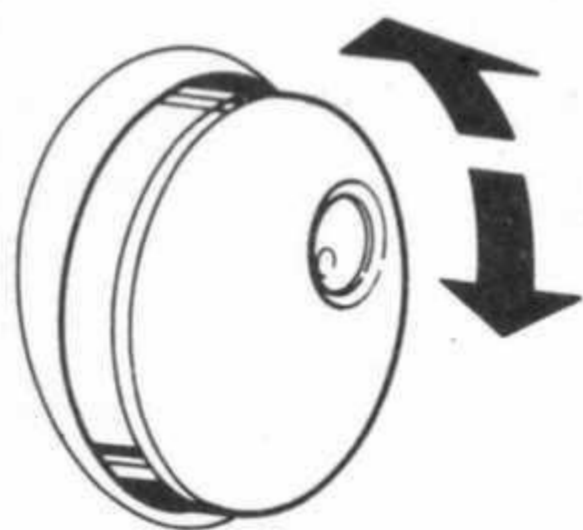
3 バンドを選ぶ



4 モードを選ぶ



5 放送に合わせる

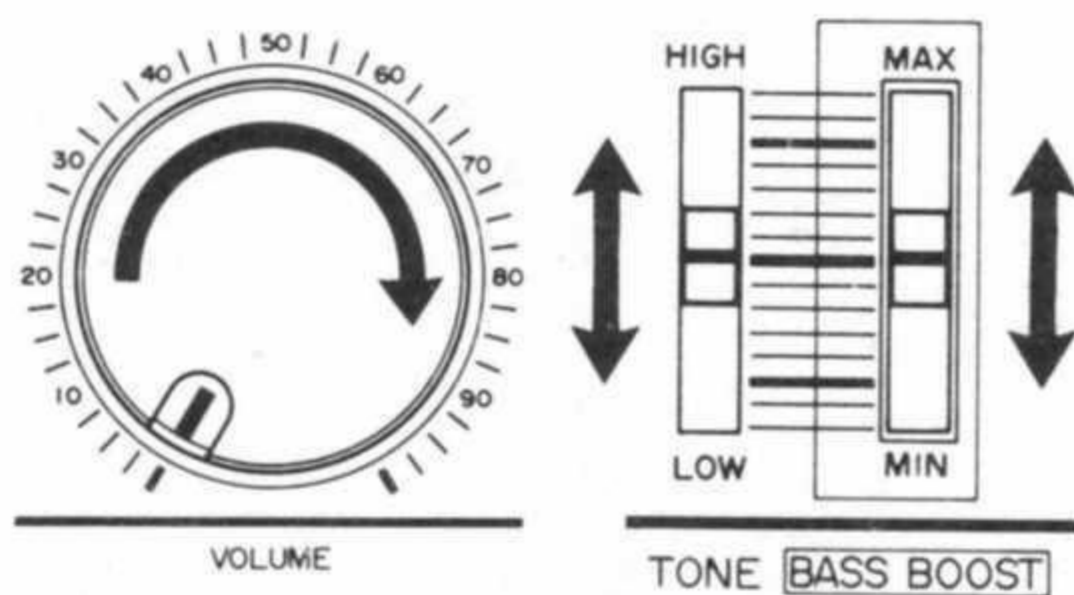


6 アンテナを調節する



右記の「アンテナの調節」をご覧ください

7 音量・音質を調節する



■ アンテナの調節

- FM放送、テレビ音声の受信
ロッドアンテナを伸ばし、長さや方向・角度を変えて受信状態が最も良くなるよう調節します。
- AM放送の受信
内蔵のバーアンテナが働きます。バーアンテナには指向性がありますので本機を動かして最も受信状態の良い向きを探します。室内の場合、窓に近いところの方が良く受信できます。

■ FM放送を聞くとき

FM放送を受信するときは、通常FM MODEスイッチを「STEREO」の位置にしてお使いください。FMステレオ放送を受信するとステレオで聞くことができます。(FM STEREOインジケータ点灯) 放送局から遠く離れた場所やコンクリートの建物の中など、電波のとどきにくい所で雑音が多くてFMステレオ放送がうまく受信できないときは「MONO」側にします。立体感はなくなりますが聞きやすくなります。

● テレビ画面に色ムラが生じたり、縞模様が入るときは…

このような症状は、テレビ電波が弱いときに本機とテレビ受像機が別々のチャンネルを受信すると、チャンネルによっては相互干渉により発生することがあります。できるだけ本機とテレビ受像機は同じチャンネルでお楽しみください。また、テレビの音声を選局するときはテレビ受像機本体からできるだけ離してお使いください。すぐ近くで操作しますとテレビ画面に影響を与えることがありますが、これは故障ではありません。